

～薬用作物の産地を育成してみませんか～

薬用作物(生薬)産地化推進のための 行政担当者情報交換会

令和4年

2月9日(水)

13:30～16:00

薬用作物産地支援協議会では需要が拡大している漢方薬の原料であり、また中山間地域等の活性化に期待されている薬用作物の国内での産地化に向けて行政担当向け情報交換会を開催します。

場所

AP大阪茶屋町 ROOM G
(ABC-MART梅田ビル 8F)

- JR線「大阪駅」より徒歩約3分
- 阪急線「大阪梅田駅」より徒歩約1分
- 地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約3分



■ ■ オンライン同時開催 ■ ■

Web会議ツール「Zoom」を利用し、オンラインでも同時開催いたします。ご自身のパソコン、スマートフォン等でZoomミーティングに参加できる環境をご用意ください。(参考: <https://zoom.us/>)

(録画公開の予定はございません)

当日のプログラム

- 挨拶 農林水産省
薬用作物産地支援協議会
- 奈良県漢方のメッカ推進プロジェクトについて
奈良県産業・観光・雇用振興部
次長 今仲 進 先生 他
- 富山県における薬用植物の栽培支援体制
富山県薬事総合研究開発センター
薬用植物指導センター
主任研究員 田村 隆幸 先生
- 意見交換会
農林水産省による薬用作物関連の補助事業に関するご質問 等
※講演内容ほか、事前にいただいた質問の質疑応答を含む。

講演概要

奈良県 今仲 進 先生 他

飛鳥・奈良時代より漢方にゆかりの深い奈良県ならではの蓄積を活かし、生薬(薬用作物)の生産拡大から、関連商品・サービスの創出、漢方の普及までを5つのステージに分け、部局を横断して一貫した体制で総合的に取り組む「漢方プロジェクト」が令和4年で10周年を迎える。奈良県のこれまでの取り組みについて紹介する。

富山県 田村 隆幸 先生

富山県の医薬品産業は300年以上の歴史を有するが、その原料となる薬用植物の栽培については課題がまだ多い。近年は栽培支援体制の強化を図るため、県では農林水産部と厚生部の連携によるプロジェクトチームを立ち上げ、シャクヤクを中心に苗の安定供給や省力多収栽培技術の確立等に取り組む、生産拡大を推進している。

※参加申込方法: 事前に、薬用作物産地支援協議会HP(下記URL参照)の申込フォームからお申込みください。
(メール又はFAXの場合は、申込書の送付をお願いします) HP(<https://www.yakusankyo-n.org>)

参加申込受付開始: 令和4年1月11日(火)

申込締切: 令和4年1月28日(金)

Zoomミーティングに関する詳細情報は、追ってメールにてお知らせいたしますので、参加申込書にメールアドレスを必ずご記入ください。※受付は先着順といたします

